

## 平成22年度 地球環境基金「国際協力講座」

生物多様性を学び、国際協力についての、自分なりのミッションを探る！



開発途上国で環境NGO活動に  
参加してみたい人のための国際協力講座

**あなたのミッションをさがしてみよう**

2010年10月24日(日)～25日(月)1泊2日\*

愛知県名古屋市：  
金山プラザホテル及び名古屋国際会議場／生物多様性交流フェア等関連イベント

主催：独立行政法人 環境再生保全機構 地球環境基金部  
企画運営：社団法人 海外環境協力センター  
協力：ラムサールセンター

**参加者募集**

=====  
日 時：2010年10月24日(日)～25日(月)1泊2日\*\*  
場 所：愛知県名古屋市  
会 場：金山プラザホテル(兼宿舎)及び名古屋国際  
会議場  
形 式：講義、質疑、グループ討論、フィールドスタディ  
対 象：地球環境・生物多様性問題と国際協力に関心  
をもち、活動に参加したいと考えている人  
参加費：1,000円(宿泊・食事代(税込み)が別に10,000円  
程度かかります)  
■参加費は当日、会場でお支払いください。  
定 員：30人(申込順受付/定員になり次第締切)  
申込先：社団法人 海外環境協力センター  
申込方法：URLまたはFAXより申込(詳細裏面参照)  
締 切：2010年10月8日(金)  
主 催：独立行政法人  
環境再生保全機構 地球環境基金部  
〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310  
ミュゼ川崎セントラルタワー8階  
☎044-520-9505 <http://www.erca.go.jp/jfge/>  
=====  
=====



\*両日参加希望者が優先となり、定員になり次第締め切らせていただきます。

\*\*日程・プログラム・講師紹介、問い合わせ先詳細は裏面に記載されています。

## ●●● プログラム概要 ●●●

【第1日目：10月24日（日）10：30～18：30】  
集合/受付 10:00～10:30 於：金山プラザホテル

- 生物多様性条約の役割と展望●
  - 1) CBDの意義と日本の取り組み：松葉清貴
  - 2) 生物多様性に関する国内NGOの取り組み：鈴木陽子
  - 3) 生物多様性に関する国際的な取り組み：Ana Maria E. Tolentino
- 国際協力の現状●
  - 1) 援助実施機関の取り組み：中村さやか
  - 2) 民間企業の取り組み：山崎勝子
  - 3) BOPビジネスという形態：白木夏子  
ジュエリービジネスを通じた途上国貧困層へのアプローチ
- 日本のNGO及びNPOの国際協力の実際と参加●  
中村玲子・長谷代子
- 講義終了後交流意見交換会（希望者）●

### 【主催・企画運営・協力団体紹介】

「地球環境基金」は国内外の民間団体（NGO/NPO）が行う環境保全活動への資金の助成や人材育成、情報提供等の支援を行っています。



社団法人海外環境協力センターは海外の環境保全に関する協力、調査研究、広報活動等を通じて、国際的相互依存時代の地球環境の保全に貢献することを目的として活動しています。



「ラムサールセンター」は湿地の保全と賢明な利用の普及啓発（CEPA）に取り組むNGOです。アジア各地で政府、NGO等と国際協力活動を展開しています。



【第2日目：10月25日（月）9：00～15：30】

- フィールドスタディ 於：名古屋国際会議場ほか●
  - 1) CBD\_COP10関連会議（サイドイベント等）参加
  - 2) 生物多様性交流フェア参加
  - 3) ラップアップ（自らの国際協力活動計画作り）

### ●問合せ●

社団法人 海外環境協力センター  
担当：西宮、市毛  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-8  
電話：03-5472-0144 FAX：03-5472-0145  
Eメール：kokusaikoza@oecc.or.jp

## ●●● 講師紹介 ●●●

**松葉清貴**：愛知県環境部水地盤環境課長。これまで、大気、水地盤、廃棄物、自然など幅広い環境行政に従事。環境省地球環境局勤務時には途上国への技術支援を担当、また、JICA短期専門家等の経験あり。

**鈴木陽子**：矢作川をきれいにする会 会長。高度経済成長期の昭和46年当時より矢作川流域の水質保全活動に携わり、「流域は一つ！運命共同体！」を合言葉に今年で40年活動を行っている。功を奏し、矢作川は清流を取り戻しつつあり、三河湾の海洋生物も多く生息し始めた。

**Ana Maria E. Tolentino (Ms)**：Program Development Officer, ASEAN Center for Biodiversity。米国フォーダム大学にて国際関係論、及び豪国シドニー大学にて環境法の修士取得後、現職。生物多様性の保全のために調査、活動を行っている。

**中村さやか**：独立行政法人国際協力機構（JICA：ジャイカ）企画部業務企画第一課調査役。JICA大阪、社会開発協力部、JICAベトナム、無償資金協力部などでの業務を通じ、教育、給水、医療等の社会開発分野における途上国協力、ODA実務に携わる。

**山崎勝子**：株式会社テクノ中部環境技術本部。電力分野を中心に陸域、海域の自然環境調査、環境影響評価、各種研究・解析を行っている。また、長期にわたる企業の環境モニタリング活動にも関わると同時に、石炭火力発電所から大量に発生する石炭灰を有効利用した砂漠緑化等に取り組んでいる。

**白木夏子**：株式会社HASUNA 代表取締役。国連人口基金ベトナム・ハノイ事務所とアジア開発銀行研究所にてインターンを経験し、投資ファンド事業会社を経て、ジュエリーブランドを扱う HASUNA Co, Ltd を設立。現在 Ethical ジュエリーブランドを中心として事業展開中。

**中村玲子**：ラムサールセンター事務局長。1990年5月の設立当初から一貫して、日本とアジアにおけるラムサール条約の普及、湿地の賢明な利用の推進をめざし、アジア湿地シンポジウム開催や、国際子ども湿地交流活動などを推進している。

**長谷代子**：社団法人海外環境協力センター研究員。環境 NGO、JICA地球環境部支援ユニット勤務を経て現職。国際環境協力・気候変動対策としてのカーボン・オフセット等の業務に携わる。

プログラム・講師については、講師・会場等の都合により中止・変更となる場合があります。

**参加申込方法** ①URL申込：<https://a02.hm-f.jp/index.php?action=R1&a=144&g=10&f=19>（推奨）  
②FAX申込：下記フォーマットを送信してください。

【個人情報の取扱いについて】

当講座の受付は、独立行政法人 環境再生保全機構から委託を受けた社団法人 海外環境協力センターが担当しております。参加登録の情報は、当講座開催の目的に限り利用します。個人情報は同社団のプライバシーポリシーに従い適切に取り扱います。

「国際協力講座」参加申込書（FAXの場合） FAX: 03-5472-0145

（フリガナ）  
名前： \_\_\_\_\_ 生年月日\* \_\_\_\_\_ 性別\* \_\_\_\_\_ 所属 \_\_\_\_\_  
年 月 日 男・女 （会社・団体・学校など）

〒 \_\_\_\_\_  
住所： \_\_\_\_\_

電話： \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

連絡・確認方法の希望： 電話 FAX E-mail

連絡事項： \_\_\_\_\_

\* 保険の申し込みが必要です。